



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

# 佐世保中央ロータリークラブ週報

会長:岡 光正 / 副会長:芥川 圭一郎 / 幹事:馬渡 圭一



2025~2026年度クラブスローガン

## 例会に行こう

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会:委員長 / 橋口 佳周 副委員長 / 倉科 聰一郎

委員 / 西村 浩輝、四元 清安、崎山 信幸、田中 啓輔、澤田 磨

本日の出席率 76% : 会員数 56名・出席 28名・欠席 12名・出席規定免除会員 10名・ビジター 3名  
 前々回の修正出席率 83.92% : 出席 28名・メークアップ 3名



### 会長挨拶 / 岡 光正君



皆さんこんにちは。先ずは、先週からの活動を報告致します。11月23日日曜日、松尾委員長率いる社会奉仕委員会の皆様に、12月6日「市民交流コンサート」の集客の為に、四ヶ町アーケードにてチラシ配りをして頂きました。休日にもかかわらず有難うございました。この想いが当日の成功に繋がる信じています。25日火曜日、これも「市民交流コンサート」出演の為、男性コーラスの練習。本番に向けて完璧に仕上がってきていると報告を受けました。12月2日が最後の練習となっております。引き続き宜しくお願い致します。同日、夜はロータリー財団・米山奨学会を開催しました。基金会から「ポールハリスフェロー」と「米山記念奨学会」の推薦者を協議致しました。正式に決まれば、指山大委員長より報告があると思います。26日昨晚、社会奉仕委員会と青少年奉仕の合同委員会を開催致しました。いよいよ来週末に迫った「市民交流コンサート」の最終打合せを行いました。全会員の皆様当日のご協力お願い致します。

本日は改めてですが、例会時の「ドレスコード」について話をしたいと思います。本年度は、原点に立ち返り例会時の服装について、SAAの井上委員長から提案があり「ドレスコード」を設けております。これについては、クラブ現況活動計画書とホームページに、次のように記載しております。

- ・原則（必ずロータリーバッジ着用のこと）  
男性はネクタイ及びジャケットの着用をお願いしております。  
女性は、ジャケットの着用をお願いしております。  
(ワンピース着用の場合はこの限りではありません)
- ・夏季期間（クールビズ）  
男性は、ノーネクタイ可とし但しワイシャツとジャケットの着用をお願

いしております。

女性は、上記に準じた服装をお願いしております。  
(露出の多いものはお控え下さい)

となっております。この「ドレスコード」のあり方については、理事会でも、いろんな意見があり何度も議論を重ねました。「あまり厳しくすると、着替えてまで例会に出席しない出席率が下がる」「例会は木曜日と決まっているので、その日だけはスーツでなくてもいいので、ジャケットとネクタイを準備しといて出席して欲しい」などと、色々な意見が出ました。しかし、前提にあるのは「例会」は出席義務であり、欠席した場合はメークアップに行く事になっています。

先月、石坂ガバナーの公式訪問がありました。その時のpp懇談会で石坂ガバナーから、中央クラブに対し高い評価を頂きました。それは活動計画書やホームページ上に、この「ドレスコード」を明確に入れ、例会の重要性をうたっている事が、その要因の一つでした。

たまたまですが、数ヶ月前の「ロータリーの友」の連載記事に、「ロータリーあるある相談室」というコーナーがあります。これは、ロータリー活動での疑問点を相談し、それに対して2人のパストガバナーが答えるコーナーです。そこに次のような投稿がありました。人脈を広げたいローター・アクター27歳からの相談。先輩の結婚式の二次会に招待された時、招待状に「平服でお越しください」と書かれているのを真に受け、Tシャツとジーンズで行ってしまい恥をかきました。周りはスーツの人ばかりだったのです。僕の常識がなかったのでしょうか? ロータリーの例会の身だしなみも気になっています。

この相談に対して十和田RCの女性パストガバナーが次のように。マナーって、つまり「空気を読む力」ですね。TPOを知らないと、Tシャツで結婚式も二次会に行ってしまうようなことに... 最近は女性が肌を見せるのも当たり前ですが、「社会経験値の高い人」は、そこの一線を引いていたりします。自己主張?いいでしょう。それはファッションの時にどうぞ。今やスーツにスニーカーも「市民権」を得ましたが、とはいって、ピクニックと例会を同じ格好にするのは、やっぱりNG。会合は「誰か素敵な人と会うかも」の場です。だから、鏡の

前で「今日は誰に会うんだっけ?」って考える時間、意外と楽しいですよ。これって女性の特有の感覚?いやいや、男性の皆さんにもぜひ味わってほしい。ロータリーに「若いから許される」なんてルールはありません。ここは「平等」が基本ですから。平服って、、、「平常運転の服」ではなく「常識をわきまえた服」のことですよ!と答えています。

もう一人の高崎RCの男性パストガバナーは次のように、これは聞いた話ですが、大企業の社長が亡くなり、その社葬の時のこと。その参列者の中に一人だけ白いソックスをはいていた社員がいたそうな。それを見た専務が人事部長に「アイツは誰だ?」と聞いたのち、しばらくしてその人は会社で最も辺ぴな営業所に左遷されたそうな。あなたならどうする?と答えています。両パストガバナーの答えはとても意味深いもあります。我々もそういう経験があると思います。

例会時の「ドレスコード」、色んな意見があると思います。私の立場として、出席義務である例会に、ドレスコードにて出席される皆様の姿を見ることが会長身寄りに尽きると思っています。会員の皆様、宜しくお願ひ致します。

さて、本日の例会は米山記念奨学生 韓国出身の「キム ジョウン」さんの卓話となっております。とても楽しみしております。最後まで宜しくお願ひ致します。

## (^\_~) ニコニコボックス

**佐世保北RC 米山記念奨学生カウンセラー 茶村亜子様**  
本日はよろしくお願ひいたします。

### 佐世保北RC 積 恵子様

佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブより  
本日は、キムジョウンさんの随行で参りました。初めての佐世保中央RCさんの例会に参加させていただき楽しみしております。キムさんの素晴らしい一面を知って頂けると嬉しく思います。よろしくお願ひいたします。

### 岡 光正会長・芥川 圭一郎副会長・馬渡 圭一幹事

本日はR財団・米山委員会担当による第4回クラブフォーラムとなっております。米山記念奨学生、キム ジョウンさんに卓話を頂きます。  
どのようなお話を頂けるのか大変楽しみにしております。本日もよろしくお願ひいたします。

### 指山 康二君、吉野 英樹君

米山記念奨学生キム様のご来訪を祈念して財団の大  
小委員長としてニコニコします。

### 前田 真澄君

所用により早退させていただきます。ちゃんと岡会長挨拶は聞かせて頂き退室いたします。例会時間の60%以上にはなりませんがその分ニコニコを倍しますので井上SAA長それで勘弁してください。

### 芥川 圭一郎君

先週の金曜日イルミネーションの点灯式が行われ、第30回きらきらフェスティバルが華やかにスタートしました。ところがその晩、私は椅子から転倒してしまい、背中に小さなひびを追ってしまいました。やはり「飲み過ぎ注意」ですね。

### 藤井 寿人君

米山記念奨学生キムジョウン様、佐世保北RC茶村亜子様、そして法人会青年部でも同士である積恵子様本日の卓話楽しみにしております。

## Report 幹事報告 / 馬渡 圭一君

### 1. 例会変更・休会

#### \* 佐世保西RC

日時 12月23日(火) 18:30~。  
佐世保ワシントンホテル※家族忘年例会  
休会 12月30日(火)

#### \* 佐世保北RC

日時 12月8日(月) 18:30~。  
セントラルホテル佐世保  
※家族クリスマス会  
休会 12月29日(月)

### 2. 来信

#### ■佐世保北RC

・創立40周年記念誌 受領

本日の合計	8,000円
本年度の累計	700,000円



## 本日の卓話

米山記念奨学生  
キム ジョウン さん  
韓国出身  
長崎国際大学5年生 薬学専攻



## 「 私 と ロ ー タ リ ー 」

今日私の卓話のテーマは〈ロータリーと私〉です。 まず、私の紹介をしますと、私の名前はキムジョウンで、年は今年30歳になりました。 韓国の釜山から来ました。 以前、釜山大学の大気環境科学科を通っていましたが、中退して今は長崎国際大学薬学科の5年生です。 私の家族は4人家族で母、父、私そして妹がいます。 私の妹は私より2歳年下で同じ釜山大学校に映画科を卒業しました。 また、私には大切な家族が2人いますが、ドリとジェリーという猫も2匹います。 母は薬剤師で、父は歯科医です。 私が薬学科に来ることになったのは母の影響が大きかったです。 数年前、私の母は職業病の首の椎間板ヘルニアで大苦労しました。 首を下げることができない状況で、痛みがひどくて仕事が全くできないレベルでした。 私は母を助けるために通っていた学校を休学して2年間母の薬局で母を手伝いました。 その前まで私にとって薬剤師という職業は少し退屈なイメージでしたが、その時の経験で薬剤師という職業に興味を持って薬剤師の夢を見るようになりました。 でも当時、韓国ではpeetという薬学大学への編入試験が廃止される時点だったので悩んでいたところ、母は日本の薬学部への留学を勧めました。 日本語が全然分からなかった私は怖かったですが母の応援で留学を準備するようになり、無事に今はこんなに5年生になりましたね。 母がいくら勧めたとしても、娘が一人で留学することについて家族の心配が大きかったです。 そんな心配をなくさせてくれたのがロータリーでした。 米山獎学生になった後、私のカウンセラーを含む佐世保北クラブの方々は私の家族になってくれたり、誕生日パーティーをしてくれたり、美味しい飲食店を連れて行ってくれたりと、温かくもてなしてくれたりしました。 ロータリーで私が受けたものは第一に経済的支援、第二に家族のようなロータリーアンたち、第三に各国の立派な留学生の友達、そして日本文化の経験の機会の拡大です。 このすべては結局、学問を持続する力につながりました。 私がロータリーにできることは世界平和の理念を少しでも広めること、広い知識と経験を分かち合うこと、私の祖国である韓国国情報と文化を伝えることです。 小さな一步ですが、私にできる範囲でロータリーの理念を分かち合うために努力したいです。

S A A : 井手陽一

